

1 地域でのつながりをつくるために、個人としてどうかかわるか

- ・まず、あいさつや声かけから始め、ご近所や地域のことを知るようにする
- ・助け合いの気持ちを持って対話を重ね身近な人と信頼関係を築く
- ・町会等へ加入する
- ・また町会等への加入如何にかかわらず、趣味などを通じたつながりづくりに努める
- ・地縁の活動に積極的に参加し、課題を解決する中でのつながりづくりに努める
- ・つなぎ役になってさまざまな人を巻き込んで、地域でのネットワークを築く
- ・そのためにはみんなが集まる場や、そのきっかけとなるイベントが必要である
- ・そんな場でさまざまな世代の住民の交流が生まれることで、孤立のない地域をつくる
- ・さらにそのような活動の情報を得て、身近に発信していくことも重要である
- ・あわせてまちの良いところなど自分にできることを発信する。発信方法を教えあえるような環境づくりに努める
- ・このように、他人や行政任せにせず、できることを大人が率先してやっていくこと、そしてルールを守るよう努める
そんな地域人材を地域で育成し、OBも含めた行政職員も積極的に参加する
- ・子育てや学校運営への参加、まちの歴史の伝承、環境美化、健康づくりなど地域でのさまざまな取り組みの中で、興味のある分野から参加できるような地域をつくる

2 地域でのつながりをつくるために、地域（町会・市民団体）としてどうすればよいか

- ・まず、あいさつをしやすい環境をつくり、町会等に加入していない人にも気を配る
- ・（団体として）地域の行事やイベントに参加し、地域の課題に取り組む中で（他団体との）つながりづくりに努める
- ・住民の（団体への）加入を促したり、つなぎ役になってさまざまな人を巻き込み、地域での（団体間の）ネットワークづくりを進める
そのためにはみんなが集まる場が必要で、学校を拠点として活用することも1つの方法である
- ・また、地域の人がつながるきっかけとなるイベントも必要で、そのためには地域活動に参加しやすくなるような仕組みづくりに努める
そのためには、興味のある分野に参加できるようにテーマ別の活動を増やしていき、地域として個人や各団体の活動を後押しする
- ・地域の人を巻き込んでいくため、地域の情報の発信方法を工夫し、まちの良い点や活動への参加方法などを積極的に発信、共有する
- ・そのような取り組みを行うために、地域人材を地域で発掘、育成し、地域の人を持っている能力を最大限活かしてもらい、その方々の協力を得てまちづくりに取り組む
そうすることで、特定の人が高負荷にならないように役割を分担するよう配慮する
- ・また、地域活動に取り組む上では、既存の仕組みに捉われずに対応することが大事であり、地縁の活動を見直すことも必要である
- ・活動を進める上では、様々な経費が掛かるので安定的な資金の確保に努める
- ・地域の未来を考える上では、子どもや若い世代とのつながりを積極的につくることが重要で、そのために子どもの頃から地域への愛着が持てるよう、企業や学校等と連携し、子どもへ働きかけるあわせて、子どもが安心して過ごせるような安全な環境を地域でつくる

3 地域で担うこととはどんなことが

- ・身近なつながりのつくり方
- ・各種団体に所属していない人への対応策
- ・つながりの強化
- ・学校教育との連携する方法
- ・話し合いや交流等の場の持ち方
- ・地域での学習の場の持ち方
- ・参加しやすい地域活動の企画
- ・地域活動に参加しやすくなるような仕組みづくり
- ・若い世代の地域への参加促進
- ・地域課題の解決
- ・見守り・見回りのしくみ
- ・高齢化社会への対策
- ・防災・防犯対策
- ・情報の収集
- ・情報の伝え方
- ・地域の担い手育成
- ・地域リーダー
- ・地域の中での役割分担
- ・個人や団体の努力に対するサポート
- ・お金の使い方
- ・地域の将来ビジョン
- ・子どもを育てやすい環境づくり
- ・町会等のこと
- ・町会等への加入促進
- ・地域でのルール
- ・行政の目が届かないこと
- ・地域の美化や住環境保全策

4 地域で担うために必要なことは何か

- ・ 一人ひとりがつながる意識を持つこと（あいさつをするなど身近なつながりづくりから、PTA や老人会など様々な団体とのつながりをつくること）
- ・ つなぎ役になって地域においてネットワークを形成すること
- ・ 普段からみんなが話し合い、交流できる場があること（そこから小さなコミュニティが生まれること）
- ・ 地域の人がつながるきっかけとなるイベントがあること
- ・ 地域活動に気軽に参加できるような仕組み、若者を巻き込んでいく仕組みを考えること
例えば、テーマを分けて規模を小さくすること
- ・ イベントだけでなく、地域の課題に取り組んでいく中でのつながりづくりや役割分担をしていくこと
高齢者等が孤立しないように見守りや見回りを行う中で、また災害を想定した避難訓練や防犯パトロールを行う中で地域のつながりをつくること
- ・ ネットを効果的に活用するなど積極的な情報の公開・共有を行い、地域の人を巻き込んでいくこと、また情報発信にあわせて地域の良い点を伝えていくこと
- ・ 積極的に地域の担い手を地域で発掘、育成し、世代交代が上手くできるような仕組みを考えること
- ・ テーマごとにリーダーを分けることや役割分担をすることで、特定の人が重荷にならないよう配慮すること
- ・ 活動を進める上で様々な経費がかかるため、安定的に予算を確保すること
- ・ 地域活性化のための地域での施策の方針をつくること、取組の優先順位をつけること
そのために、地域の意見をしっかりと聴く仕組みをつくること
- ・ 子どもが安全に暮らせ、また、幼少の頃から地域に愛着を持たせるような取組を行うこと
- ・ 町会等について
町会等のつながりを強めること
町会等のあり方も時代に合わせて変えていくこと
入りやすい仕組みをつくること
町会等のあり方を見直すこと
町会等と他の団体とが連携していくこと

5 地域で担っていく上での、行政の役割は何か

- ・ 市民の声に耳を傾ける（普段から親身になって市民からの相談に乗る。団体等の意見をよく聴き適切に対応する）
- ・ 市民とできるだけ接することを心がける
- ・ 町会等に入っている市民と入っていない市民の間など、市民間の調整を行う
- ・ 地域でのつなぎ役となる
- ・ 地域の支援をする上で、企業や大学等とも積極的に連携する
- ・ 新しい人がすぐに馴染めるように開放的な地域づくりがされるよう支援する
- ・ 市民主体のまちづくりを進めるために、話し合い等ができる場を確保、提供するよう努める
- ・ 市民の地域参加への意識を高め、地域参画や市民主体のまちづくりへのきっかけとなるようなイベントなどを行う
- ・ 市民の参加を促すため、市政や地域の情報を積極的かつ効果的に発信する
- ・ テーマ別に支援を行う
- ・ コミュニティやシチズンシップについて教えるなど、学校や家庭での教育をサポートする
- ・ 専門人材の協力を得るなど、個人や団体の地域活動を積極的に後押しする
- ・ 地域活動を進める上で必要な経費について、地域が使いやすい形での財政的な支援を行う
- ・ 各種講座など、地域の人材を育成される機会を提供する
- ・ 地域における人材育成を支援する
- ・ 行政OBの力を地域で発揮するような仕組みをつくる
- ・ 地域が主体的にまちづくりをしていける枠組みを行政がつくる
- ・ 尼崎市の将来ビジョンをしっかりと描くこと、それによって各施策の方針を明確にすること
- ・ 町会等、他の主体に任せずに行政が積極的に地域に働きかける
- ・ 自発性や熱意、謙虚さを持つよう心掛ける
- ・ 縦の関係だけでなく横のつながりも重視し連携すること
- ・ 市のイメージアップを図り、特に若い世代が住みたいと思えるようにする
- ・ 市民への啓発を行うほか、市民だけでなく行政職員の意識も醸成する
- ・ 啓発活動等を行い、ルールやマナーをしっかりと守るよう促す
- ・ 町会等の役割を明確にしたり、町会等への加入を積極的に市民に呼びかけるなど、町会等と連携した取り組みを進める
- ・ 地域活動の推進の面から、社協の活動区域と小学校区の地域区分について考え方を整理すること